

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 8.26

下水道機構の『新技術情報』 第393号

(公財)日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

先週末は、第70回下水道新技術セミナー【東京会場】が開催されました。沢山の方にご参加いただき誠にありがとうございました！

今週末には、大阪科学技術センターにてセミナーが開催されます。まだまだ、募集は受け付けていますので、今日になって時間ができた方など、是非ともご参加頂ければと思います。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第393号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

#### ◆◆◆トピックス◆◆◆

##### ■インフォメーション

- ・第70回 新技術セミナー【東京会場】を開催しました！
- ・第384回技術サロンの講師とテーマに変更があります！

##### ■機構の動き

- ・第70回 新技術セミナー【大阪会場】を開催します！

##### ■Tea Break

- ・今年の夏は暑い！（あつがりさんからの投稿です）

##### ■はしわたし

- ・今週はありません。

##### ■国からの情報

- ・8/23付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。

##### ●第70回 新技術セミナー【東京会場】を開催しました！

開催日はグズついた天候でしたが、数多くの方にご参加いただきました。

##### ○第384回技術サロンを開催します！

日 時：令和元年9月12日(木) 16:00~17:00

場 所：機構8階 中会議室

講演者：日本下水道協会 技術研究部 技術指針課 係長 本田 康人氏  
主任 阿部 義成氏

テーマ：①「下水道施設計画・設計指針と解説」の改定概要について

②下水汚泥由来肥料の利用促進について

～鹿児島県徳之島町における肥料利用計画～  
※計画・設計指針の改定については、公式の説明会を年末、年明けに開催する予定になっています。

今回は、これまでの経緯と主要な改定内容についての概要説明になります。

また、これまでは講演者について、日本下水道協会技術指針課の重野課長とお知らせしていましたが、所用により変更となっております。

※詳細及び参加申し込みはこちら  
<https://www.jiwet.or.jp/salon384>

---

。○。

機構の行事予定

---

。○。

○第70回 新技術セミナーを「ICT/IoTを活用した効率的な浸水対策について」をテーマに開催します！

【大阪会場】

日時：令和元年8月30日（金） 13：00～16：45

場所：大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町1-8-4）

※詳細及び参加申し込みはこちら  
<https://www.jiwet.or.jp/new-tech-seminar70>

---

。○。

Tea Break（機構職員の感じるまま）

---

。○。

●今年の夏は暑い！（あつがりさんからの投稿です）

連日の猛暑日・真夏日，近年，暑さがより一層増してきた気がする！！ということから，気候変動について検索してみました。

COP21で定められた目標は，産業革命前と比べ，世界の平均気温の上昇を「2度」未満に抑えることです。このため種々の取組がされているわけですが，何の対策もせずにいると2050年には「2度」を超え，様々な影響が生じると考えられています。

WWFや国立環境研究所のwebサイトでは，IPCCの最新の報告書に基づいて想定した2050年の天気予報ニュースが見られます。自分が雨対策関係の業務も携わっていることもあり，なかでも特に“スーパー台風”に興味をひかれました。強雨の長期化によって浸水リスクが高まるのなら下水道もますます頑張らないと…といったところです。

ほかにも様々な事象が予測され，「30年後にこんな状況になるの！？（笑）」とツッコミたくなるような惨事まで報じられています。面白いので是非視聴してみてください！

---

。○。

ピックアップ！機構情報

---

。○。

下水道機構情報 Vol. 14 No. 29 2019. 7（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly29>

WEB版機関誌下水道機構情報 Plus+ 16号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter16>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 28 2019. 1はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol. 13 No. 27 2018. 7 はこちら  
<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

下水道機構情報はこちら  
<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>  
ニューズレターはこちらから  
<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>  
審査証明技術全体はこちら  
<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

---

。○○。  
はしわたし（みなさまの情報交流の場です）  
。○○。

＼(^-^)/ 皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/  
提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)  
※テキストは原則 400 字以内。写真等は A4 版にして原則 2 ページ以内。  
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、  
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

---

。○○。  
国からの情報  
。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。  
=====

下水道ホットインフォメーション（2019. 8. 23 の情報です）  
配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課  
企画専門官 山縣弘樹

今日、平成 30 年度の下水道を含む汚水処理人口普及率が公表されました。  
全国では汚水処理普及率は 9 割を超え、下水道普及率も約 8 割になっていますが、  
地域毎に見ると、中小都市を中心にまだ普及が進んでいない地域もあり、  
早急な概成に向けて取り組んでいただければと思います。

一方で、汚水処理の普及が進んだ地域では、汚水処理普及率だけではなく、  
施設の利用率や、老朽化の度合い等、管理運営の面から多面的な指標が必要になります。  
国土交通省では、下水道データベースにおいて、様々な指標を公表しています。  
<https://portal.g-ndb.jp/portal/>

普及率だけでなく、様々な下水道の指標についても市民の方々に関心をもって  
いただければと思います。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

- 汚水処理施設を使える人口が着実に増加しています！  
～平成 30 年度末の汚水処理人口普及率をとりまとめ～（国土交通省）
- 福岡市における下水道の国際協力事業が平成 30 年度全建賞を受賞しました。  
～ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市における浸水被害軽減に向けた技術協力事業～

- 汚水処理施設を使える人口が着実に増加しています！  
～平成30年度末の汚水処理人口普及率をとりまとめ～（国土交通省）

国土交通省、農林水産省、環境省の合同で、各々が所管する下水道、農業集落排水施設等、浄化槽等による汚水処理施設の普及状況を調査した結果、平成30年度末における全国の汚水処理人口普及率は91.4%と前回調査より0.5%増となりました。

一方で、いまだに約1,100万人が汚水処理施設を利用できない状況にあり、特に人口5万人未満の市町村の汚水処理人口普及率は80.3%にとどまっています。

汚水処理施設の整備は、地域の実情に応じた整備方法、整備スケジュール等を設定した「都道府県構想」に基づき、各地方公共団体が効率的、効果的に実施しており、国は引き続き、汚水処理施設の未普及地域早期解消に向けた支援を推進してまいります。

（記者発表資料）[http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13\\_hh\\_000422.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000422.html)

- 福岡市における下水道の国際協力事業が平成30年度全建賞を受賞しました。  
～ミャンマー連邦共和国ヤンゴン市における浸水被害軽減に向けた技術協力事業～  
(福岡市)

（全建賞の概要）

全建賞は、一般社団法人全日本建設技術協会より、建設技術の発展に寄与するため、建設技術の活用並びに公共事業の進め方や運用等の創意工夫により特出した成果の得られた事業及び施策について、これを実施した機関が表彰を受けるものです。

（事業の概要）

福岡市は、ヤンゴン市の浸水被害軽減に向け、国際協力機構（JICA）の「草の根技術協力事業」の採択を受け、平成28年3月より3年間で、ヤンゴン市職員の排水計画策定に関する能力向上を図ることを目的とした「ヤンゴン市道路排水能力改善事業」を実施しました。

事業の中では、福岡市道路下水道局全体で協力し、計14回延べ79名の本市職員の派遣や、計3回延べ20名のヤンゴン市職員の研修受入れを通じて、排水計画策定に関する技術指導を実施し、効果的な浸水対策に必要な排水計画を策定できるヤンゴン市職員を、当初の目標10名に対し14名育成しました。

また、官民連携による海外事業案件の受注や、地場企業等のビジネス機会の創出を図るために設立している「福岡市国際ビジネス展開プラットフォーム」の会員企業と連携し、浸水対策技術に関する講習や工場視察等を行うことで、ビジネス機会を創出するなど、地域の活性化を図りました。

このような取り組みが評価され、平成30年度全建賞を受賞するに至ったものです。

福岡市は、今年度より草の根技術協力の第2期事業を予定しており、引き続き排水機能改善に必要な施設の建設・維持管理に関する技術指導を行っていくこととしています。

---

【参考情報】

- ◆ 全国の汚水処理、普及率91% 小規模自治体整備進まず 〈共同通信 8/23〉  
<https://www.47news.jp/national/lifestyle-interest/3916438.html>

- ◆ トイレ、風呂、台所の汚水流入、お台場の水質「最悪」五輪テスト中止で波紋  
〈産経新聞 8/23〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190823-00000557-san-spo>

- ◆ 東京五輪トライアスロンの舞台に“大腸菌”も1日で改善...  
なぜ短期間で乱高下? 専門家に聞いた 〈FNN 8/21〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190821-00010013-fnnprimev-env>

- ◆ 自然エネルギー：下水汚泥で発電して環境負荷も低減、JFE エンジが新型技術を  
商用化 〈スマートジャパン 8/20〉

<https://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1908/20/news054.html>

- ◆ 大井ふ頭にシナモロールマンホール第2弾 3競技応援キャラ「シナカモン」  
とコラボ 〈みんなの経済新聞 8/22〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190822-00000037-minkei-113>

- ◆ ギョーザと鹿沼組子、マンホールカードに 宇都宮など地域活性狙う  
〈産経新聞 8/22〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190821-00000002-san-109>

- ◆ マンホールふた 庭石に? 玄関先に? 福井市が1000円で販売 受け付け中  
〈毎日新聞 8/19〉

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190819-00000039-mai-soci>

- ◆ マンホールがなぜ観光名所に? 全国に広がるご当地マンホールが増えた理由とは  
〈8/19 くるまのニュース〉

[https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190819-00168241-kurumans-bus\\_all&p=1](https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20190819-00168241-kurumans-bus_all&p=1)

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>